

プラズマローゲンが認知症治療の未来を変える！

その経緯と実証が、いよいよ書籍化されます！



認知症はもう不治の病ではない！

脳内プラズマローゲンが神経細胞を新生する

世界初の証明！

記憶がどんどん蘇る！

藤野武彦・馬渡志郎・片渕俊彦

『夢の扉+』(TBS 2015年2月放送)などで話題殺到の物質、プラズマローゲン。なぜこんなに効くのか？その秘密を遂に書籍化！ ブックマン社

1カ月で笑顔が戻り、家族に「ありがとう」を言えるようになったアルツハイマーの患者さん。一体、何が起きたのか？

プラズマローゲンとは？

…人や動物の体内にもともとあるリン脂質の一種で、脳の疲労や酸化を守ってくれる物質です。アルツハイマー型認知症患者さんの脳内ではプラズマローゲンが減少していることは以前から分かっていました。そしてこの物質を外から投与することで（ホタテ・プラズマローゲン）アルツハイマー型だけでなくあらゆる認知症の劇的な改善や予防ができることが著者たちの研究により、この度明らかになったのです！

2015年10月3日 全国発売！

介護ご家族、そして医療者必読の一冊。

(定価 1400 円+税 四六判並製 248 ページ)

『認知症はもう不治の病ではない！』

脳内プラズマローゲンが神経細胞を新生する』

認知症の原因は、脳の疲労だった!?

ストレスが恒常的に続くと、脳の神経細胞が酸化し、我々の脳は、内なる自分に対立状態となる“疲労状態”に陥ります。その結果、記憶や感覚、思考などに異常を来し、認知症の症状が出るのです。脳疲労状態の脳ではリン脂質の一種である<プラズマローゲン>が減っていることがわかりました。著者らはアルツハイマー型認知症に関する臨床試験で、プラズマローゲンによって症状が改善することを世界で初めて実証しました。その後、今年春より行われたオープントライアル試験にて、アルツハイマー型だけではなく、レビー小体型認知症や前頭側頭型認知症においても、この効果が有効であること解明されています。一度なったてしまったら、回復の見込みはないと今まで言われてきた認知症治療が今大きく変わりつつあります。



ふじの たけひこ
藤野 武彦

九州大学名誉教授、医学博士

まわたり しろう
馬渡 志郎

ロジ-機能食品研究所所長、医学博士

かたふち としひこ
片渕 俊彦

九州大学准教授、医学博士

写真右から/馬渡、藤野、片渕

認知症になったら、「何も分からなくなる」なんて嘘なのです。本人はちゃんと分かっています。分かっているもうまく表現できず行動に移せないから、苦しむわけです。ある男性の患者さんはプラズマローゲンを摂取して2ヵ月で、奥様とのコミュニケーションが再開しつつあることに喜びを見出し「死にたい」という想いを消し去ることができました。
ご夫婦ともに、表情に輝きが戻っていました

10月3日（土）都内にて、藤野武彦医師による 出版記念講演会開催決定！

講演会場：帝国ホテル東京本館3階富士の間/開場：12：45/開演：13：15/入場無料
プラズマローゲンをさらに詳しく知りたい方に！DVDも同時発売予定！
詳細は下記担当者までお願い申し上げます。

ブックマン社
bookman.sha

Tel :03-3237-7777(代表) 03-3237-7784(編集部)

編集／小宮亜里 komiya@bookman.co.jp

営業／石川達也 ishikawa@bookman.co.jp